

光陽中学校 環境学習プログラム学校訪問 結果報告書

[日 時] 令和4年11月16日(水) 14:00~15:40

[出席者] (1) 学校側出席者 光陽中学校校長、教頭、東安居公民館館長
 (2) 市側出席者 福井市環境学習プログラム学校訪問員1名、
 福井市学校教育課職員1名、環境政策課職員2名

[訪問内容] ・福井市環境学習プログラムにかかる取組の確認
 ・委員会活動の見学(ボランティア委員会、整美委員会)

[講 評] ※ESDのポイントを踏まえ取り組まれているかを中心に講評しています。

<能力・態度>

批判的に考える力	①
未来を予測して計画を立てる力	②
多面的・総合的に考える力	③
コミュニケーションを行う力	④
他者と協力する態度	⑤
つながりを尊重する態度	⑥
進んで参加する態度	⑦

<概念>

多様性	①
相互性	②
有限性	③
公平性	④
連携性	⑤
責任性	⑥

概念を理解するために必要な(身につけるべき)能力・態度

I	環境の取組	能力・態度	概念
	≪環境教育≫	①、②、③、⑤、⑦	①、②、③、⑤、⑥
	<ul style="list-style-type: none"> ・小中合同清掃ボランティアを実施します。 ・自分の住む地域の清掃を行い、きれいにすることの喜びや達成感を味わわせ、環境を整えることの大切さに気づかせる。 ・また、学校文化の伝達もしていく。 	<p style="text-align: center;">所感</p> <p>学校側から、環境ISOへの取組についての報告を受けたのち、意見交換した。</p> <p>その後、学内巡視を行い、随所に節電や節水を呼びかけるステッカー・ポスターなどが掲示されていることを確認した。また、校内清掃活動や委員会活動(ボランティア委員会と整美委員会)を見学した。</p> <p>朝の清掃ボランティア活動では、平均70名程度の生徒が自主的に参加し、通学路や学校周り、グラウンドなどの清掃活動を行っていることは素晴らしい取り組みだと思う。</p> <p>こうした活動にとどまらず、多くの環境活動に熱意をもって活発に取り組むとともにそれらの様子を積極的に発信している姿勢は高く評価すべきと考える。</p>	

II	環境の取組	能力・態度	概念
	≪省エネルギー・省資源≫ ・生徒を対象に環境に関するアンケートを実施し、省エネルギー・省資源活動を意識できるようにします。 ・使用していない教室や使用していない教室や廊下、トイレなどの照明をこまめに消すなど、電気の使用量を減らす工夫の指導をします。 ・また、デマンドサポートを的確に利用し、電気の使用量を制限します。 ・プリントを印刷するときは必要な枚数を確認します。また、利用可能なものは裏面を利用します。	②、④、⑤、⑦	③、⑤、⑥
III	環境の取組	能力・態度	概念
	≪ごみ減量・リサイクル≫ ・ごみ分別ルールに従って、分別します。 ・学校の催しでは、ごみが少なくなるように工夫します。	④、⑤、⑥、⑦	③、⑤、⑥
IV	その他の所感		
	清掃ボランティアや足羽川河川敷でのコスモス植栽、里山（下市山）の保全活動などに公民館やPTA、地元団体（下市山の自然を愛する会）など地域の方々と積極的に連携・協力して邁進していることが確認され、とても素晴らしい取り組みと考えます。こうした地域の自然資源を活用・保全する活動や取り組みとその推進態勢が、今後、光陽中学校の伝統として根付くことを期待します。 また、環境改善への取り組みは多様なものであり、必ずしもオリジナリティにこだわることなく、他の学校や団体等の取り組みであってもいいと思ったことは、大いに取り入れまた真似ていってほしいと思います。		

[訪問の様子]

